

くすりのしおり

内服剤

2021年06月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：レバミピド錠 100mg 「EMEC」

主成分：レバミピド(Rebamipide)

剤形：白色の錠剤、直径 8.1mm、厚さ 3.4mm

シート記載：（表）レバミピド錠 100mg 「EMEC」、レバミピド、100mg、胃炎・胃潰瘍のお薬
（裏）Rebamipide100mg 「EMEC」、レバミピド 100mg 「EMEC」



この薬の作用と効果について

胃粘膜プロスタグランジン E₂ 増加作用や胃粘膜保護作用により胃粘膜傷害を抑制し、胃粘液量や胃粘膜血流量の増加で血行動態の障害を改善し、炎症を抑え、胃粘膜を修復します。

通常、胃潰瘍の治療、急性胃炎や慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・胃潰瘍：通常、成人は1回1錠（主成分として100mg）を1日3回、朝、夕と就寝前に服用します。
急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善：通常、成人は1回1錠（主成分として100mg）を1日3回服用します。
いずれの場合も、必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時点で1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は、忘れた分を飲まないで、次の飲む時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹、かゆみ、薬疹様湿疹などの過敏症状、蕁麻疹などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・冷汗、血圧低下、呼吸困難 [ショック]
- ・眼と口唇のまわりのはれ、蕁麻疹、呼吸困難 [アナフィラキシー様症状]
- ・のどの痛み、発熱、倦怠感 [白血球減少]
- ・鼻血、歯ぐきの出血、四肢などの皮下出血 [血小板減少]
- ・全身倦怠感、食欲不振、皮膚や粘膜などの黄染（黄色くなる） [肝機能障害、黄疸]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

SI①